

【憲法】

問題 以下を読み、設問に答えなさい。

Xは、A県B市に在住する25歳の女性である。外国籍であるが永住者であり、生まれたときから日本社会に定住しており、日本語を話し、地域社会に密着して過ごしてきた。また日本の大学を卒業後、日本の企業に就職し、今後も日本社会で生活してゆこうと考えている。なおXは、出生時から現在に至るまで住所を変更したことがない。

B市議会議員選挙に関し、Xは平成**年**月**日登録の選挙人名簿に登録されていなかったため、選挙人名簿の縦覧期間内に、B市選挙管理委員会に対し自らを登録するよう異議の申出をした。これに対し同市選挙管理委員会は、異議の申出を却下する決定（以下、本件決定）をした。

そこで、Xは本件決定の取消しを求めて訴えを提起した。

設問1 あなたがXの訴訟代理人であったとしたら、本件の訴訟において、どのような憲法上の主張を行うか述べなさい。

設問2 本件における憲法上の問題に関し、あなたの見解を展開しなさい。

設問3 本件は市議会議員選挙における選挙権の問題であるが、仮にこれが国政選挙における選挙権の問題であれば、あなたはどのように考えるか、論じなさい。

※ なお、解答用紙の記入に際しては、設問1、設問2、設問3の順番で、かつ、〔設問1〕、〔設問2〕、〔設問3〕と見出しをつけて記入しなさい。